

政務活動費収支報告明細書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No. 1	項目	研究研修費 ・ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	H30年 5月 10日 から 5月 11日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	研修名:第10回 2018年度 日本自治創造学会 研究大会 会場:明治大学アカデミーコモン棟			
	参加者	3人			
		(氏名等) 丸山幸子・片渕卓三・芦原美佳子			
	経費	研究研修費	150,180 円	調査旅費	円
実績報告書 No. 2	項目	研究研修費 ○ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	H30年 6月 9日 から 6月 10日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	第69回全国植樹祭 ふくしま2018 会場:福島県南相馬市			
	参加者	2人			
		(氏名等) 丸山幸子・芦原美佳子			
	経費	研究研修費	円	調査旅費	106,020 円
実績報告書 No. 3	項目	研究研修費 ○ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	H30年 10月 10日 から 10月 12日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	第80回全国都市問題会議 会場:新潟県長岡市シティーホールプラザ アオーレ長岡			
	参加者	2人			
		(氏名等) 丸山幸子・芦原美佳子			
	経費	研究研修費	118,750 円	調査旅費	円
実績報告書 No. 4	項目	研究研修費 ○ 調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	H30年 11月 20日 から 11月 21日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	11月20日(火)“その時” 地域防災計画は機能するのか 11月21日(水) 地方自治体の主要政策課題とその考え方・論じ方 会場:図書館流通センター中部支社(名古屋市中区丸の内2-2-28)			
	参加者	1人			
		(氏名等) 片渕卓三			
	経費	研究研修費	12,160 円	調査旅費	円

項目別合計 (最終ページに記載)	研究研修費	281,090 円	調査旅費	106,020 円
---------------------	-------	-----------	------	-----------

政務活動費実績報告書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No. 1

項目	(研究研修費)・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
期間	平成30年5月10日(木)～11日(金)		
研究研修名 ・ 場所等	会場: 明治大学アカデミーコモン棟		
	研修名: 第10回 2018年度 日本自治創造学会 研究大会		
参加者	3 人 (氏名等) 片淵卓三、丸山幸子、芦原美佳子		
研究研修・調査の項目 人生100年時代の地域デザイン～人口減少社会に向き合う地域社会～			
5月10日: 「人生100年時代の人作り革命」(株)日本総合研究所理事長 高橋進氏の講演			
パネルディスカッション「若者たちの挑戦ー人口減少社会の地域デザイン」			
「人生100年時代の政府の取組み」内閣官房長官 菅義偉氏講演			
5月11日: 「これからの日本をどうする」中央大学名誉教授 佐々木信夫氏講演			
「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」社会福祉法人佛子園理事長 雄谷良成氏講演			
「空き家対策と活用策」国土交通省住宅局長 伊藤 明子氏講演			
「人口減と対峙する地方議会」早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭氏講演			
「日本の目指す道」元総務大臣・衆議院議員 新藤 義孝氏講演			
	摘要	金額	備考
経 費 内 訳	会場使用料	円	
	講師料	円	
	交通費(公共交通機関)	69,180 円	別紙参照(11,530円×往復×3名)
	交通費(タクシー)	円	
	交通費(レンタカー等)	円	
	道路通行料等	円	
	宿泊費	42,000 円	14,000円×3名
	会費(出席者負担金)	33,000 円	11,000円×3名
	年会費	6,000 円	2,000円×3名
	計	150,180 円	



交通費明細

尾張旭 ⇄ 大曾根 名鉄瀬戸線

(300円×往復×3名)

大曾根 ⇄ 東京 ⇄ 御茶ノ水 JR・新幹線

(乗車券 6,260円+指定席特急券 4,830円)×往復×3名

御茶ノ水 ⇄ 水道橋 JR

(140円×往復×3名)

〈内容及び今後の活用計画〉

第10回 2018年度 日本自治創造学会 研究大会

人生100年時代の地域デザイン ～人口減少社会に向き合う地域社会～

(内容)

・1日目

講演 「人生100年時代の人づくり革命」高橋 進氏 (㈱日本総合研究所理事長)

安倍政権はセカンドステージに入り、鍵は人口対策・労働参加率と生産性の引き上げである。

①社会保障改革 ②人づくり革命：少子化対策、教育改革 ③生産性革命：潜在成長率の引き上げ

④地域活性化に向けた仕組みづくりが重要である。

人生100年時代構想会議の具体的なテーマとして、全ての人に開かれた教育機会の確保やリカレント教育、高等教育改革、企業の人材採用の多元化等を掲げている。これまで高齢者向け給付が中心となっていた社会保障制度を、全世代型社会保障へ改革し実現していく。

○ パネルディスカッション「若者たちの挑戦—人口減少社会の地域デザイナー—」

パネリスト兼コーディネーター：山崎 亮氏 (㈱studio-L代表取締役)

パネリスト：伊藤 文弥氏 (NPO法人つくばアグリチャレンジ副代表理事)

横山 太郎氏 (Co-Minkan普及実行委員会共同代表・医師)

李 炯植氏 (NPO法人Learning for All代表理事)

井上 貴至氏 (総務省〈現在 愛媛県市町振興課長〉)

山崎氏：地域の課題を住民が解決するためのコミュニティデザイナー。まちづくりに若者を巻き込む上で必要なポイントは、まず関心を引く面白さや興味が湧く魅力がまちづくりにあるか？若者は弁証法的な面倒な話は嫌い。正しさや経済性、効果は後からついてくる。

兵庫県有馬富士公園での住民参加型のパークマネジメント：地域の活動団体に公園でイベントを開催してもらい、行政側は経費削減をしながら効率的に公園管理できる。住民側は公園に愛着を持ち、健康づくりや生きがいつくりとなり、仲間が増え人生の充実につながっている。

○ 大阪府泉佐野丘陵緑地：公園づくりに関わり活躍してくれる地域住民・パークレンジャーを養成。10年計画の予定が、好評につき18年計画に。住民参加型の公園づくりは、経費削減となるだけでなく、コミュニティの形成に寄与している。

秋田市：元気な高齢者を増やすため、高齢者をテーマとしたユニークな展覧会を県立美術館で開催。市民が元気な高齢者(高齢者とは呼ばず先輩と呼ぶ)を調査し企画。元気で楽しく暮らしている高齢者には、20歳以上年下の友人がいる。健康長寿となり医療費・介護費の削減に。

まちづくりのワークショップでは“Yes and いいね！さらにこうしましょう！”を基本ルールとしている。

伊藤氏：障がい者と農業の連携に取り組んでいる。

横井氏：高齢者の孤立防止・地域のためのCo-Minkan(公民館)普及に取り組む医師。

李氏：子どもの貧困問題・学習支援や学びと育ちの拠点づくりに取り組む。

井上氏：“地方に足りないのは人材！”地方創生人材支援制度を提案し、第一号で派遣となった。

以上4名の若い世代のパネリストが、それぞれが挑戦している事業内容・取り組みを紹介。

・“自分が地域を変える”という意気込みより前に、地域への挨拶、繋がり、共感が大切。無関心な人をどう巻き込むか？

・子どもの貧困対策は、子ども食堂だけでは救えない。居場所だけでは解決できない。貧困の連鎖から抜

け出す力をつけるため、学習支援が必要。子ども食堂の支援に高齢者に関わってもらおうと介護予防にもなる。経営が困難なため財政的に支援してもらえらる仕組み作りを！

- ・民間人副校長などナンバー2のポジションの人が大切。
- ・ふるさと納税上手く利用すれば良い。殺処分ゼロ10数億。皆が喜ぶ仕組みを。寄付文化育むこと必要。
- ・議員へ期待することは、地域への顔つなぎ、拡散、課題の背景の情報提供、現場の声を上げてもらい事業化することなど。ワークショップに議員が入ってもらおうと、住民の声との意見の食い違いが起きにくく助かる。

講演「人生100年時代の政府の取組み」菅 義偉氏（内閣官房長官・衆議院議員）

総務大臣時代に“ふるさと納税”を創設した経緯。地方の活力なくして国の活力はない。安倍政権5年5カ月、経済再生最優先の政策とその成果。雇用の改善・GDP上昇・女性の就業率アップ・待機児童対策・年金運用等。地方創生の柱としてインバウンド政策、頑張る地方を応援するしくみ。政府の最大の責務は国民の安全・安心を守ること、危機管理。特定秘密保護法、平和安全法制の効果。地方の魅力をつくるのは皆さん。地域で考えて提案する事が大切であり、頑張る地方を応援する。

・2日目

講演「これからの日本をどうする」— 廃県置州で「新たな国づくり」を一

佐々木 信夫氏（中央大学名誉教授・（社）日本国づくり研究所理事長）

我が国の歳出は160兆円、歳入は100兆円、国地方で累積債務1200兆円の借金大国。人口減少時代に相応しいのは、新たな国の形ではないか。10の州に分け、それぞれ統治すれば30兆円程の税金削減が可能。地方のあり方、地方創生まで国がリーダーシップを執っている。典型的な例として補助金や国家戦略特区で地方を差配する仕組み。47都道府県に代わる日本型州構想を実現する時である。意思決定を地方で決めるソフトインフラの大改革が必要。中央集権に代わる、地方主権型の国家に！

講演「空き家対策と活用策」伊藤 明子氏（国土交通省住宅局長）

全国の空き家総数は約820万戸。内訳で最も多い「その他の空き家」が問題。447市区町村が空き家等対策計画を策定。空き家は相続時に50%発生していることから、3年以内に対応すれば、3000万円を特別控除する税制措置を創設。空き家対策は解体・撤去、利用（住宅として流通・グループホームなど用途転用）、発生防止などあるが、地域によって空き家の状況など異なり、地域のまちづくりとして支援する。

既存住宅の流通促進に向けて、「安心R住宅」の標章を付与する仕組みを創設。

新たな住宅セーフティーネット制度①住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度 ②登録住宅の改修・入居への経済的支援 ③住宅確保要配慮者のマッチング・入居支援

所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法案について

講演「日本の目指す道」新藤 義孝氏（元総務大臣・衆議院議員）

世界の中で、日本の経済的な地位は低下している。働く人が減少しても高齢者が増加しても成長する社会→キーワードは社会実装。所得を上げて、子供を育てられる国へ。経済再生と財政健全化を両立させていかねばならない。経済政策に初めて社会保障と子育てを盛り込んだ。人づくり革命。生産性革命。地方創生→リーサス等を活用し自分たちのまちを分析し、元々あるもので何か伸ばせるものは無いか考察する。

講演「人口減と対峙する地方議会」北川 正恭氏（早稲田大学マニフェスト研究所顧問・元三重県知事）

1993年、衆参全会一致で地方分権の決議。その後、地方分権一括法成立。国の改革は地方から。地方創生→国からの指示では成功しない。総合計画はやらされ感いっぱい。地方が変わり国が変わる→執行部は体質的に国の補助金が頼り（＝変えられない）。公職選挙法で選ばれた地方議員、主権者の代弁をする議会こそ民意の反映機関である。一度も議案を否決しないなら議会は要らない。対等な二代表制を！議会の活動が見えない。議会不要論7割。議員は必要だが議会は不必要。議会の価値を高めるため①議会基本条例②あり方を検討③最大の問題は議長の権限。議長のあり方の検討を！1年交代で本当に良いか？首長は4年間必死に働くが、順番の議長にそれができるか。一点突破、全面展開。議長の権限強化・実質的大改革を！

講演「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」雄谷 良成氏（社会福祉法人佛子園理事長）

佛子園は戦後、障がい児の福祉施設として開設。小松市にある西園寺を障がいがある人もない人も、老若男女全ての人が集う憩いの場に再建したことが大きな転機に。カフェや温泉、デイサービスは、まちのコミュニティの場となり障がい者の就労の場に。ごちゃまぜの施設からごちゃまぜのまちづくりへ。2014年にシェア金沢を展開。1万坪以上の敷地内にはサービス付き高齢者住宅、児童入所施設、商業施設、学生向け住宅等がある。

地域中心のプロセス(地域戦略)が重要で、高齢者、障害者、子ども、住民、色々な人と関わると役割が生まれ、活気が生まれる→ごちゃまぜの力。生きがいのある人は生存率が高くなる傾向。人生の目的がある高齢者は、要介護の発生率が約40%低下する。マズローの6段階欲求説→最上位は自己超越欲求＝コミュニティ発展要求＝人が幸せになってほしい欲求＝ごちゃまぜ。ごちゃまぜは第三の医療。人と交わるだけで健康になる。人とのつながりから生まれる支援(ソーシャルサポート)

高齢者の孤立防止や認知症防止・障がい者の自立支援につながる。人と人のつながりが地域を作る。

【今後の活用計画】

人口減少・超少子長寿化・人生100年時代へ向かっているわが国の課題、政策、現場での取り組み、挑戦等について関係・官僚・若い世代・福祉関係者・元首長・など様々な分野の方がそれぞれの立場で語られた、とても中身の濃い充実した研究大会であった。わが国の課題は山積しており、カギとなるのは地方、地域の力であることを再確認した。本市においても、今後さらに行政が課題解決の全てを担うことは困難となることが考えられるが、本市が掲げる「全員参加のまちづくり」のヒントとなる事例を多くお聴きすることができた。

これからは、更に若い世代や無関心層を巻き込むための具体策が重要である。山崎氏が言われた、まず関心を引く面白さや魅力、そのための知恵、“いいね！さらにこうしましょう！”と相手の提案を否定せず、先ず受け止めて展開していく方法は、とても大切だと感じた。地域での課題となっている、公園の維持や自治会活動、防災の取り組みなど、地域づくりに活かしていくための参考とし、提案して参りたい。子ども食堂の運営に高齢者に関わって頂くなど、子どもの健全な育成と地域の高齢者の活躍を兼ね備える仕組みも、今後は重要だと感じた。

また佛子園での世代や障がいの有無に関わらず、全ての人が役割をもち、生きがいを持って生活する「ごちゃまぜの共生社会は」我が国における「みんなで支えあうまち」の先進事例である。本市の今後の福祉政策を考える上で、参考にして参りたい。

菅氏の地方の取り組みへの大きな期待や、北川氏の地方議会・議員への期待は、地方議会で取り組むべきこと、地方議員としての使命を改めて考えるものであった。“議会・議員の活動が見えない”との住民の

声に対し、本市議会においては議会基本条例の制定をはじめ、議会報告会や、意見交換会など、市民に理解して頂けるような取り組みを進めている。議長の任期等については、今後その在り方について議論を重ねて参りたい。

また我が会派では、毎回欠かさず議会質問に立ち、その後の広報活動に挑戦し、活動の見える化に努めている。現在は、地域を歩き、地域課題の訪問調査運動を行い、市民の声を市政に反映できるよう挑戦中である。しかしながら、これまでの地道な取り組みに加え、若い世代や多くの無関心層を巻き込むような、まずは関心を引く工夫も重要である。議員・議会の活動を理解し納得して頂けるよう、更なる努力を重ねていくと共に、地方から人生100年時代に希望が見いだせるような取り組みを提案して参りたい。

領 収 書

No. 039

片 淵 卓 三 殿

平成30年5月11日

¥11,000

但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (30.5.10~.5.11)
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治創造学会

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473

領 収 証

No. 086275

RECEIPT

お名前 NAME

公明党 瓦張旭市議員 様

日付 DATE 2018年5月11日

¥ 42,000 -

内税金分
TAX

収入印紙
Revenue Stamp

上記の金額正に領収致しました。
Above amount received with thanks

但し
Remarks

宿泊代金

TOKYO DOME HOTEL

株式会社 東京ドームホテル

宿泊部 フロント課

〒112-8562 東京都文京区後楽1-3-61

TEL 03-5805-2220

1-3-61 Koraku, Bunkyo-ku, Tokyo 112-8562, Japan

Tel. 03-5805-2111 Fax 03-5805-2200

担当者 CLERK 林

領 収 書

No. 048

丸山幸子 殿

平成30年5月11日

¥11,000

但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (30.5.10~5.11)
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治倉庫造学会

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473

領 収 書

No. 051

青原美穂子 殿

平成30年5月11日

¥11,000

但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (30.5.10~5.11)
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治倉庫造学会

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473

領 収 書

No. 048

丸山幸子 殿

平成30年5月11日

¥ 2,000

但し 日本自治創造学会 平成30年度 年会費
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治倉庫創造学会

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473

領 収 書

No. 051

芦原美佳子 殿

平成30年5月11日

¥ 2,000

但し 日本自治創造学会 平成30年度 年会費
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治倉庫創造学会

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473

別添付 E02

領 収 書

No. 039

片 瀧 卓 三 殿

平成30年 5月 11日

¥ 2,000

但し 日本自治創造学会 平成30年度 年会費
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治創造学会

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473

政務活動費実績報告書

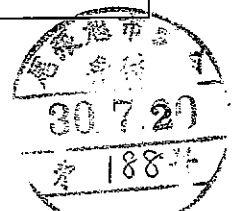
研究研修費・調査旅費

実績報告書 No.

2

項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)
期間	平成30年6月9日(土) から 6月10日(日)まで
研究研修名 ・ 場所等	第69回全国植樹祭 ふくしま2018 福島県南相馬市
参加者	2人 (氏名等)丸山幸子、芦原美佳子
研究研修・調査の項目	<p>○ 明年春、本市に所在する愛知県森林公園で開催される第70回全国植樹祭にむけての本市での取り組み、おもてなしの参考とするため、本年の開催地福島県南相馬市での全国植樹祭に参加し、調査・研究した。</p>

摘要		金額	備考
経費内訳	会場使用料	円	
	講師料	円	
	交通費(公共交通機関)	72,020 円	36,010円×2名 詳細別途記載
	交通費(タクシー)	円	
	交通費(レンタカー等)	円	
	道路通行料等	円	
	宿泊費	34,000 円	17,000円×2名
	会費(出席者負担金)	円	
	計	106,020 円	



内 容
別紙参照
今後の活用計画
別紙参照

交通費(公共交通機関)明細

尾張旭→大曾根(名鉄瀬戸線) 300円×2人

名古屋市内⇄東京⇄福島 (JR 新幹線) 35,340円×2人

福島→飯坂温泉(福島交通飯坂線) 370円×2人

合計 36,010円×2人 = 72,020円

〈内容及び今後の活用計画〉

第69回全国植樹祭 ふくしま2018

テーマ「育てよう 希望の森を いのちの森を」

(主な内容)

海岸防災林の植樹

東日本大震災時の大津波に対して、海岸防災林は漂流物を受け止め、津波の流速やエネルギーを減衰するなどの働きをした。震災により壊滅的な被害を受けたため、従来より強い海岸防災林の復旧に当たっている。災害時には人々の生命や財産を守り、地域から愛される海岸防災林を、未来の子どもたちの安全と繁栄を願って作り育てられている。今回、私たちが式典の前に、クロマツやコナラ等の植樹をさせて頂いた。

式典

プロローグ

・歓迎アトラクション

各地方の民俗芸能や震災からの復興を象徴するアトラクション（霊山太鼓・山木屋太鼓・会津彼岸獅子・フラ）

・東日本大震災復興支援への感謝

内堀福島県知事より、三春滝ザクラと八重桜のはるかの苗木を全都道府県知事代表として、次期開催県の大村愛知県知事に贈呈

・森林ときずなづくり植樹リレーゴールセレモニー

記念式典

・苗木の贈呈

・天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き

海岸防災林の基本樹種クロマツ、県民に親しまれているアカマツなど6種をお手植え

震災から復興し、次世代につないでいくという意味がこめられた津島マツ、東日本大震災被災地の復興シンボル・マルバシャリンバイなど4種をお手播き

・メインアトラクション

オール福島が演じる創作アトラクション

・リレーセレモニー

エピローグ

・森林づくりのメッセージ

未来を担う子どもたち(緑の少年団)がメッセージを朗読

・若者による地域文化の発信。

東日本大震災からの復興と再生に向け、県民が力強く進んでいく姿を表現

・グランドフィナーレ

大会テーマソング「福ある島」を大合唱

【今後の活用計画】

東日本大震災の被災地で初めて開催された全国植樹祭であり、原発被害も受けた南相馬市の海岸防災林整備地がメイン会場であること、即位以来、植樹祭の式典に毎年臨まれてきた天皇皇后両陛下にとって、今回が最後の出席となったことなどから、とても感慨深いものがあった。震災以降の

国内外からの支援に対する感謝の気持ちや、復興に向かって力強く歩み続ける福島の姿が表現され、セレモニーでは子どもたちや若い世代の活躍が目立ち、未来に向かう希望が感じられ、感動的な植樹祭であった。

式典会場や会場までの沿道には、市内小中学生の寄せ書きやイラストが描かれたのぼり旗や、手作りの花のプランターが設置されており、歓迎の気持ちが伝わってきた。また、参加者に配布された「南相馬市記念冊子」には、まちの歩みや歴史、おすすめスポット、特産品などを紹介し、まちの魅力を発信されていた。

全国植樹祭は、愛知県主催の事業のため、本市で取り組めることは限られているが、「全国植樹祭尾張旭市実行委員会」が設立され、行政・各団体・学校・市民・企業が協力しながら、本市ならではのおもてなしの準備を進めている。その一環として、小中学校でのどんぐりの苗木のスクールステイや市民によるプランターカバーの作成が行われているが、南相馬市で取り組まれていたことも、参考にして参りたい。

本市の現状としては、人々の胸に響くような背景や、ジブリパークの様な話題性のあるものは無いかも知れない。しかし、第70回大会は元号が変わり、新天皇陛下皇后陛下をお迎えする、初めての大きな行事であり、本市にとっては、市民が一つの目標に向かい機運を高めることにより、誇りに思えるまちとなり、子どもたちの郷土愛を育て、まちの活性化につなげる絶好の機会である。

福島大会では、会場までの沿道には、市民による歓迎の姿はあまり見られなかったが、富山大会では多くの市民が沿道で歓迎して下さったとお聞きした。可能であれば、多くの市民で県内外からの来場者を沿道でお出迎え、お見送りし、参加者の心に残る、真心をこめたおもてなしをすることを提案する。そのためには、全国植樹祭を本市で盛り上げていこう！と協力して下さる人が必要である。あさひサポーターを様々な機会を通し、引き続き大募集して参りたい。

また、近年「持続可能な開発目標（SDGs）」への関心が高まっているが、「国連森林戦略計画2017-2030」では、森林の活動がSDGsの17目標のうち14目標の達成に寄与することが示されており、第72回全国植樹祭開催地の滋賀県では、植樹祭基本構想の開催理念の中にSDGsの視点が盛り込まれている。植樹祭への取り組みを通して、次代を担う子どもたちや若者、多くの市民にSDGsの周知啓発をし、関心を高めるチャンスだと考える。本市の魅力発信につなげるSDGsの推進を提案する。

領 収 証

領収証番号	00195636978-02-91
通 番	T001-035128
発 行 日	2018年 5月16日

公明党 尾張旭市議団 様

下記の金額正に領収いたしました

¥70,680 ※

但し 6月 9日 JR乗車券代金として

ご入金内訳

日 付	種 別	金 額
2018/05/16	現 金	¥70,680
合 計 金 額		¥70,680

店 舗 名	株式会社 JTB 尾張旭イトーヨーカードー店
住 所	〒488-0057 愛知県尾張旭市南原山町石原 116-4
電話番号	TEL: 0561-54-9171

出納責任者	██████████
取 扱 者	██████████



領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

No 007903

領 収 証

印 紙

平成 30 年 6 月 29 日


下記の金額正に領収いたしました

〒960-8132 福島市東浜町7番8号
福島交通株式会社

TEL 024 (533) 2131

摘要	金額
株券券 (福島 → 飯坂)	780
370円 x 2	
合 計	1540

会社代表者 張田 中義国 殿

検 印	作 成 者
	



領 収 証

領収証番号	14078102000-07-28
通 番	T001-009332
発行日	2018年 6月 3日

公明党尾張旭市議団 様

下記の金額正に領収いたしました

¥34,000 ※

但し 6月 9日 全国植樹祭宿泊代金として

ご入金内訳

日 付	種 別	金 額
2018/05/31	振 込	¥34,000
合 計 金 額		¥34,000

店 舗 名	株式会社 JTB 福島支店福島オフィス
住 所	〒960-8043 福島県福島市中町 1-19 中町ビル4階
電話番号	TEL: 024-523-3314

出納責任者	■■■■
取扱者	■■■■



領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。